

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2
学年	3年	教科書	高等学校現代文B 8 明治書院		
学科	全学科(選択)	副教材	高等学校現代文B学習課題ノート(明治書院) 常用漢字ダブルクリア三訂版(尚文出版)		

学習目標	①近代以降の様々な文章を読んでの確に理解し、適切に表現する能力を高めます。
	②文章を読んで批評することを通して、自分の考えを深めたり発展させたりします。
	③目的や課題に応じて表現の仕方を考えたり、創作的な活動を行ったりします。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 随想「はじめての失敗」 平出隆	・筆者の主張を読み取り、自身の問題として考えます。
	2 小説「マスク」 干刈あがた	・登場人物の心情の変化を読み取り、親子関係について考えを深めます。
	3 評論「言葉を理解する」 長尾真	・言葉だけが独り歩きする危険性を学びます。
	4 詩「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子	・詩の言葉の持つ個性豊かな表現を味わいます。
2	5 評論「あるいは〈風〉について」 橋本治	・広い視野から評論文を読解する姿勢を育てます。
	6 随想「サフラン」 森鷗外	・知の獲得の問題から世界や物、人との関わりについて考えます。
	7 小説「博士の愛した数式」 小川洋子	・登場人物の設定、心情、情景を的確に理解し、表現を味わいます。
	8 短歌・俳句	・短詩型文学に親しみ、鑑賞の方法を学びます。
3	9 評論「私の個人主義」 夏目漱石	・筆者の問題提起、論の展開、主張を把握し、現代に通じる問題として考えます。
課題	①予習・復習…『学習課題ノート』やプリントなど。 ②夏休み課題…補習授業の勉強・読書感想文など。 ③冬休み課題…入試問題集など。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
II 話す・聞く能力	目的や場所に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
III 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
IV 読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
V 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)